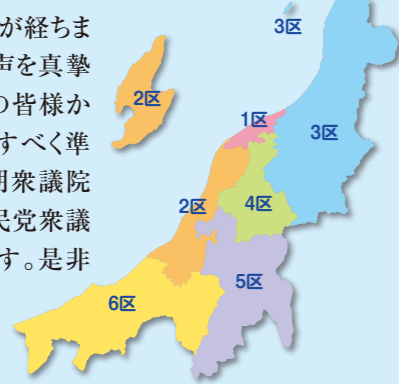


次期衆議院候補予定者出揃う!

～政権奪還に向けて頑張ろう!!～

自由民主党が政権を失い3年が経ちました。この間、我々は皆様の声を真摯に受け止め、もう一度、国民の皆様から信頼され政権奪還を果たすべく準備して参りました。ここに次期衆議院選挙に立ち向かう同志の自民党衆議院候補予定者をご紹介します。是非皆様のご支援ご協力を宜しくお願い致します。



第1選挙区支部長 石崎 とおる
(元)内閣官房国家戦略室主査



第2選挙区支部長 細田 健一
(元)経済産業省原子力安全・保安院保安課課長補佐



第3選挙区支部長 斎藤 ひろあき
(元)内閣府公共サービス改革推進室参事官補佐



第4選挙区支部長 金子 めぐみ
(現)新潟県議会議員



第5選挙区支部長 長島 忠美
(現)衆議院議員



第6選挙区支部長 たかとり 修一
(前)衆議院議員

イチロー会続々誕生! <<9.2 新潟南区イチロー会発会式>>



今年新たに、十日町、月潟でイチロー会が誕生し、つい先日には旧白根市、味方村地区約70名の皆様にお集りいただき、新潟南区イチロー会を発会いたしました。来年7月の参議院選挙に向けて、故郷新潟をもっと元気にするために皆様のお力をイチローにお与えください!

応援メッセージ

私は、今の日本を考えた時、戦後最大の国難と
思っております。原因は幾つかあると思いますが、
一番は民主党政権の過ちだと思います。
このような国難の時代に真の保守であり政治的にぶれない、
国家・国民の為に活躍されている塚田一郎先生こそ新潟県の
代表であり我々保守の代表と思っております。
経済、防衛、外交、少子高齢化の中における社会保障の問題
にしっかりと取り組んでいただけるものと信じて
おります。

塚田一郎先生が、益々ご活躍できるよう
我々も最大の支援を行って参ります。

新潟南区イチロー会 会長 遠藤 哲



イチロー会入会のお願い

〈どなたでも気軽に参加できる会です〉

イチロー会では現在会員を募集中です。
「塚田一郎を応援したい!」
「一緒に新潟を変えたい!」
「新潟をもっと盛り上げたい!」
そんな方々の入会を心待ちにしています。
お問い合わせは新潟事務所までご連絡ください。

平成24年度活動予定
・ゴルフコンペ
・忘年会



お気軽にお立寄りください!



塚田一郎 新潟事務所
〒950-0945 新潟市中央区女池上山2丁目22番7号
TEL.025-280-1016
FAX.025-280-1020
E-メール t-ichiro@au.wakwak.com

塚田一郎 国会事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館1117号室
TEL.03-3581-3111【内線51117】
FAX.03-6551-1117

ホームページ <http://www.t-ichiro.net>
イチロー会HP <http://www.ichirokai.com>

COMMUNICATIONS NETWORK

ICHIRO PRESS

イチロー通信 VOL.13

ふ・る・さ・と 新潟ネットワーク 発行：塚田一郎事務所 後援会内部資料 2012.9



HEADLINE

来たる国政選挙に勝利し 政権奪還を!

続き党勢拡大を
実践



～第23回参議院議員通常選挙新潟選挙区 自由民主党公認候補に決定～

7月7日、第60回自由民主党新潟県支部連合会大会において来夏の第23回参議院通常選挙新潟選挙区の公認候補として決定を頂きました。これも偏に皆様の永年のご支援のお陰であり、心より感謝申し上げます。

次期衆議院選挙と来年の参議院選挙は我が国の未来を決める大切な戦いです。衆議院選挙で新潟県6選挙区の議席を奪還し、自らの議席を死守するため全身全霊で取り組んで参ります。

民主党政権の最大の失政は外交であることは明白です。

鳩山元総理の普天間基地移設問題をめぐる迷走から米国との関係が悪化したことが発端となり周辺国が挑発的な対応を繰り返し、我が国の国益は大きく毀損されています。

一昨年の中国漁船衝突事案では、「那覇地検の判断」との名目で船長を釈放し、危機管理の甘さを露呈、その後、ロシア大統領の北方領土上陸を許してしまいました。

自民党政権下、日本政府は「竹島は国際法上も歴史上も我が国の領土であり、韓国が不法占拠している」と一貫して主張してきました。しかし、政権交代後、民主党政権が竹島を「不法占拠」と言わず、韓国に対し不必要な謝罪談話を行うなど、常に誤ったメッセージを発信し続けたことで、ついに韓国大統領の竹島上陸を許してしまいました。

民主党政権の3年間で韓国、中国、ロシアとの外交関係は最悪の状態となり、同盟国である米国との信頼関係も低下していることは民主党政権の失政以外のなにものでもありません。

私たちの暮らしにおいても、今一番大事なことは「コンクリートから人」ではなく、仕事や雇用を創る事業への投資、民需の拡大が最重要であり、そのための政策転換をしなくてはなりません。

我々は国家と国益を守るために、一刻も早く政権奪還を果たさなければなりません。私はこれからも「愛する故郷・新潟」の声を国政に届け、誇りある日本をつくる

為に全力で務めさせていただくことをお約束申し上げます。今後とも皆様の変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

昭和38年12月27日生
新潟小学校、寄居中学校、国学院高校を経て
昭和62年 中央大学法学部法律学科を卒業
平成2年 米国ボストン大学大学院修士課程修了
帰国してさくら銀行(現三井住友銀行)に入行
平成12年 衆議院議員 麻生太郎 秘書
平成19年 参議院議員新潟選挙区選挙に出馬し初当選
現在



つかた一郎プロフィール

- ★参議院常任委員会 財政金融委員会理事・決算委員会
- ★参議院特別委員会 拉致問題特別委員会 理事
- ★党 務 参議院国会対策副委員長・参議院副幹事長等を歴任し現在内閣部会部会長代理(シャドウ・キャビネット内閣府副大臣 拉致問題担当)
- ★主な議員連盟 内水面漁業振興議員連盟事務局長・拉致議連幹事等

自由民主党参議院議員

塚田一郎